

平成 25 年度入学者選抜試験問題
(教育文化学部・学校教育課程・発達科学選修)

記述問題

後 期 日 程

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、2 ページあります。解答用紙は 1 枚あります。問題は 1 題あります。

試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。

- 3 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 4 解答は、解答用紙の該当欄に横書きで記入しなさい。
- 5 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 6 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

〈問題〉

近年は新入社員の早期離職が問題視されることがあります。右の図1は就職後3年以内の離職率の1988年から2006年までの推移を学歴別に表しています。また、図2は会社を選ぶときに重視した要因について、1971年と2007年の新入社員に対して行った調査です。これらの図をよみとり、以下の問いにそれぞれ400字以内で答えてください。

問1 1971年と2007年の青年の働くことに対する考え方の違いを比較して、現在の青年が早期離職をする要因について仮説を立ててください。

問2 現代社会において「働く」ことについて、学校教育が果たす役割にはどのようなことがあるでしょうか。問1で答えた仮説をふまえ、あなたの考えるところを述べてください。

図 省 略

出典：溝上慎一『現代青年期の心理学——適応から自己形成の時代へ』有斐閣選書
2010年 一部改変